２０２１年度　事業報告書

社会福祉法人　嘉祥会

目　次

はじめに

１．　法人本部　事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ　１

２．　グループホーム　ぬくもりの園　事業報告書・・・・・・・・・・Ｐ　４

３．　デイサービス　ぬくもりの園　事業報告書・・・・・・・・・・・Ｐ１２

４．　ショートステイサービス　ぬくもりの園　事業報告書・・・・・Ｐ１８

５．　居宅介護支援事業所　ぬくもりの園　事業報告書・・・・・・・Ｐ２６

６．　ヘルパーステーション　ぬくもりの園（高齢者福祉）

事業報告書・・・・・・Ｐ３１

７．　ヘルパーステーション　ぬくもりの園（障害福祉）

事業報告書・・・・・・Ｐ３３

８．　介護ステーション　ぬくもりの園　事業報告書・・・・・・・・Ｐ３５

９．　サービス付き高齢者向け住宅　清住の杜町田　事業報告書・・・Ｐ３７

はじめに

２０２１年度も引き続き新型コロナウイルスの流行により、外部環境の変化や抑制を受けた年であり、国内外において今尚、収束の目途は立っておりません。しかし、ワクチン接種の定着や予防対策等により病床のひっ迫率が低下するなど、人の流れや経済活動は回復の兆しを感じるものでした。

本会におきましても、数名の職員の感染が確認されましたが、迅速な対応や他の職員並びに関係各所の協力によってクラスターにはならず、通常の営業を続けることができました。ご利用者及び職員の日々の予防や、自粛など生活の配慮による結果と受け止めています。ワクチン接種後も引き続き感染予防に努めるとともに、ご利用者、職員の心的ストレス緩和となるような環境整備にも努めて参ります。

２０２１年４月には３年に１度となる介護報酬改定があり、微増のプラス改定となりました。また、コロナ禍において、エッセンシャルワーカーの処遇改善がより話題となることが増えたこともあり、２０２２年２月より補助金の支給が決定し（「介護職員処遇改善支援補助金」）、同補助金を引き継ぐ形で２０２２年１０月には新たな処遇改善加算の設立が予定されております。こうした流れが介護業界全体の人材不足という課題解決のひとつになればと感じております。

地域向けのイベント開催やイベント協力を行うことが難しい状況でしたが、そうした中でもＳＮＳ等を活用した地域情報の発信や、リモートでのフォーラム参加、ご利用者の作品を子ども食堂の返礼品に出品するなど、コロナ禍でもできる地域交流を模索しながら積極的に取り組むことができました。また、図書施設へのアクセスが容易でない地域においての一助になればと、市内を中心に広がりつつある、私設図書館のような取組（「きんじょの本棚」）へも参加させていただきました。次年度においても、情勢に合わせた方法で地域との連携をより強めて参ります。

今後も取り巻く状況は楽観できるものではありませんが、今後も各情勢並びに行政計画も視野に入れつつ、本会の基本理念である、在宅で住み続けたいという地域のご利用者とそのご家族のニーズに応えられるよう努めます。また、それらを支える職員の健康管理や働きやすさを意識した職場環境改善、法人運営基盤の強化に努めて参ります。

法人本部　事業報告書

（１）介護現場の革新・介護ロボット導入

「令和３年度介護保険施設等におけるデジタル環境整備促進事業補助金」の支給が決定し、令和４年３月１日からグループホームに眠り scan という介護ロボットの稼働を開始しています。眠り scan はベッドのマットレス下に敷く離床センターでありながら、呼吸、心拍数、覚醒状況が把握できる介護ロボットになります。ご家族に対し、眠り scan 導入に関して説明した際には「安心ですね」とのお言葉いただいております。巡視は眠り scan から送られてくるデータをモニターで観察する事により、介護職員の居室への訪問が減り、ご入居者の眠りを妨げる事がなくなり、導入前以上によく眠られている様子が見られています。離床するタイミングも把握できるようになった為、介護職員の夜間帯の精神的負担も減りました。

（２）感染症や災害への対応力強化

法人内部の委員会として「リスクマネジメント委員会」を設置しました。リスクマネジメント委員会を母体とし「感染対策委員会」「事故対策委員会」「オペレーショナルリスク対策委員会」を組織化しました。それぞれの分科会では経営上、現場業務でのリスク把握や改善策を検討し、予防や再発予防に努めています。

災害時及び感染症の事業継続力強化計画（ＢＣＰ）作成にも着手し、２０２２年度には完成させる予定で準備を進めました。災害時の連携として近隣の社会福祉法人とお互い有事の際に必要と想定される人的、物的資源と提供できる資源を挙げ、共有しました。

（３）サービス満足度向上にむけた 施設整「美」の仕組みづくり

上期中に３事業所から構成される「整美委員会」を新たに設置しました。まずは委員が所属事業所の担当となることで、予算策定にも携わっていただき、新たな視点を持っていただけるようになりました。なぜ美化が大事なのかなど、あらためて共通認識を持っていただく機会となりました。今後は、より共有部分などの美化に対しても自治意識をより強く持ってもらい、福祉の専門職としてご利用者へのサービスに更なる安心等を与えられるよう、活動して参ります。

また、これまで新旧と複数の種類のユニフォームが混在していましたが、デザインを一新し、統一したものに変更しました。背面へもロゴを入れることで、施設外においてもスタッフの識別性を高めるよう整えました。

・２０２１年度　地域交流　　地域貢献活動など、地域の皆様との交流

活動内容	開催日	開催場所
こども１１０番の家	通年	グループホームぬくもりの園 介護ステーションぬくもりの園
みんなのトイレ登録	通年	ショートステイぬくもりの園 介護ステーションぬくもりの園
地域の障がい施設ご利用者の服の繕い物	随時	グループホーム
エコキャップの回収	毎月（随時）	介護ステーションぬくもりの園
レンタルボックス作品販売	４月　５月	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子ども食堂さくらんぼう	４月２４日	ほっとスペースさくらさくら
地域の農家さん食事会招待	４月２６日	清住の杜町田　地域交流室
みんなの子ども食堂さくらんぼう	５月２２日	ほっとスペースさくらさくら
新型コロナウイルスワクチン接種予約サポート	５月２８日 ３１日	介護ステーションぬくもりの園
きんじょの本棚設置	６月～	介護ステーションぬくもりの園
公衆電話設置	６月～	グループホーム歩道側花壇
地域の農家さんとサツマイモの苗植え	６月１７日	ぬくもりの園近隣の畑
みんなの子ども食堂さくらんぼう	6月２６日	ほっとスペースさくらさくら
清住平自治会　第１回 座談会	６月２６日	小山田会館
ふれあいサロン清住　たなばた飾りを作ろう	７月　６日	清住の杜町田　地域交流室
みんなの子ども食堂さくらんぼう	７月２４日	ほっとスペースさくらさくら
地域の農家さんとジャガイモ堀り	７月２４日	ぬくもりの園近隣の畑
みんなの子ども食堂さくらんぼう	８月２８日	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子供食堂さくらんぼう パートナーミーティング	９月　４日	桜台一丁目集会場
地域の農家さんの植えるニンニクの種作り	９月　６日～ ９月１５日	デイサービス グループホーム
地域の農家さんの植えるソラマメの種作り	９月２２日～ １０月８日	デイサービス
みんなの子ども食堂さくらんぼう	９月２５日	ほっとスペースさくらさくら
清住平自治会、安否確認訓練	９月２５日	清住平自治会地域
令和３年度赤い羽根共同募金運動	10 月１日～ 12 月 28 日	ショートステイ入口 介護ステーション サ高住入口
地域の社会福祉法人の防災協力話し合い	１０月　５日	清住の杜町田　地域交流室
みんなの子ども食堂さくらんぼう	１０月　８日	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子ども食堂さくらんぼう	１１月　２日	ほっとスペースさくらさくら
ふれあいサロン　リース飾りを作ろう	１１月　９日	清住の杜町田　地域交流室

地域の農家さんとサツマイモ堀り	１１月１５日	ぬくもりの園近隣の畑
清住平自治会公園清掃	１１月２０日	清住平地域全域、公園
赤十字募金		
バット博士記念ホーム園遊会	１１月２３日	バット博士記念ホーム
清住平自治会　作品展	１１月２７日	清住の杜町田　地域交流室
地域の子供達とクリスマスカレンダー作り	１１月３０日	清住の杜町田　一階サロン
クリスマスイネーション点灯式	１２月　２日	バット博士記念ホーム
Ｄウイーク竹灯籠ワークショップ	１２月　４日	町田市民フォーラム前
みんなの子ども食堂さくらんぼう	１２月１０日	ほっとスペースさくらさくら
全国×まちだＤサミット２０２１	１２月１１日	リモート
地域の農家さん食事会招待	１２月１５日	清住の杜町田　地域交流室
多世代交流大作戦 in 忠生公園	１２月１８日	忠生公園
RIDE ON シバヒロ２０２１ MACHIDA OUTDOOR LABO	１２月１８日	町田シバヒロ
みんなの子ども食堂さくらんぼう	１月１５日	小山田桜台集会所下ピロティ
みんなの子ども食堂さくらんぼう	２月２６日	ほっとスペースさくらさくら
みんなの子ども食堂さくらんぼう	３月　１日	ほっとスペースさくらさくら
１６のまちだアイ・ステートメントから考える「居場所づくり」ワークショップ	３月２５日	リモート

・４月１１日、町田・ワーカーズまちの縁がわ小山田桜台の「多世代の地域の活動交流拠点、ほっとスペースさくらさくら」へ賛助金の協力をしました。
・４月１６日、小山田桜台の老人会の皆様（１５名）がボランティアでぬくもりの園、清住の杜町田の除草作業をしてくださいました。
・コロナ禍で認知症の地域イベントも開催ができない中、オレンジアクションアライアンス、認知症の人に優しいまちづくりの一環でオレンジに揺らめく竹灯りをともして繋がろう、にぬくもりの園、清住の杜町田も参加し、８月１６日～１８日、竹灯籠をともしました。
・９月の子供食堂には返礼品として、１２月の多世代交流大作戦のイベントにはグループホームのご利用者が作った、ポチ袋、箸置き、箸袋を出品しました。
・９月の清住平自治会の安否確認訓練は、防災トークアプリによる安否確認を始めて行いました。
・１１月の地域の作品展には、グループホームご入居者、デイサービスご利用者、サ高住ご入居者も作品を出展しました。
・昨年度に引き続き、地域の農家さんの畑に植えるニンニクの種、さらにソラマメの種作りをデイサービスご利用者、グループホームご入居者が行いました。
・１１月、コロナ禍以前は、七夕やハロウィン、クリスマスなどで来園していた地域の子供たちがクリスマスカレンダーを作成し、代表の児童が清住の杜町田へ持ってきて、ご入居者と一緒に飾りました。
・１２月に「全国×まちだＤサミット」、３月に「16 のまちだアイステートメント」には当会事務局長が開催スタッフとして参加しました。

高齢者グループホームぬくもりの園 事業報告書

（認知症対応型共同生活介護・共用型認知症対応型通所介護）

１．重点目標

（１）グループホーム

ア．クラブ活動により楽しい時間の共有

定期的にクラブ活動を開催することで１階２階の行き来が盛んになり、ご入居者同士の交流が深まりました。
物づくりクラブでは、クリスマスリースを作成し、居室に飾ったり、お菓子作りを頻繁に行い、おやつの時間に堪能しました。運動クラブでは、ボッチャ大会や風船バレー大会を開催し、大いに盛り上がりました。歌クラブでは、１階２階合同で歌うことで、普段歌うことに消極的なご入居者も、積極的に参加されている場面を見ることが出来ました。

お菓子作りの風景

ボッチャ大会の風景

カラオケの風景

歌を歌う風景

（２）共用型認知症対応型通所介護

ア．新規利用者の確保

定期的に作成しているグループホーム便りに共用型デイサービスの空き状況を載せています。ショートステイ、デイサービスの玄関ラックに設置し、ケアマネジャーからの問い合わせに対応しました。

２．利用者定員

（１）グループホーム

要介護度

２０２２年３月３１日現在

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
４月	３名	８名	３名	４名	―	１８名
５月	３名	８名	３名	４名	―	１８名
６月	３名	８名	４名	３名	―	１８名
７月	３名	７名	４名	４名	―	１８名
８月	３名	６名	４名	４名	―	１７名
９月	３名	６名	４名	４名	１名	１７名
１０月	３名	５名	５名	４名	１名	１７名
１１月	３名	４名	６名	４名	１名	１８名
１２月	３名	４名	６名	３名	１名	１７名
１月	４名	４名	５名	４名	１名	１８名
２月	４名	４名	４名	４名	１名	１７名
３月	３名	４名	６名	３名	１名	１７名
計	３８名	６８名	５４名	４５名	７名	２１０名

（２）共用型認知症対応型通所介護

ア．新規利用者人数

新規利用者数は２名となりました。

イ．要介護度

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	平均 要介護度
４月	１名	―	―	―	―	１．０
５月	２名	―	―	―	１名	２．０
６月	２名	―	―	―	１名	２．０
７月	２名	―	―	―	１名	２．０
８月	２名	―	―	―	―	１．０
９月	２名	―	―	―	―	１．０
１０月	２名	―	―	―	―	１．０
１１月	２名	―	―	―	―	１．０
１２月	２名	―	―	―	―	１．０
１月	１名	―	―	―	―	１．０
２月	１名	―	―	―	―	１．０
３月	１名	―	―	―	―	１．０
計	２０名	―	―	―	３名	１．３９

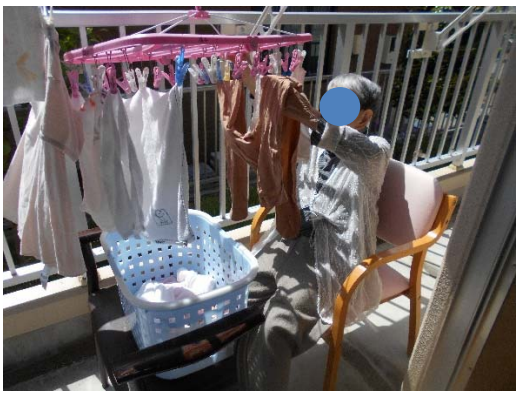
ウ．地域

地域	下小山田
利用者数	３名

３．サービスの内容

（１）ご入居者の生活

お一人おひとり、自由にゆったりとした時間を過ごしていただきました。また、掃除、洗濯、食事作りをご本人の生活のリズムに合わせて行い、カラオケ、野菜の苗植え、作品作り等、それぞれの方のお好きなこと、やりがいになる事を取り入れ、生活の活性化を図りました。



洗濯物干しの風景

花への水やり

（2）ご家族との交流

ご入居者の様子が分かるように、ご家族へ手紙と写真を送付しました。また、コロナ感染者数や萬延防止期間等を考慮しながら感染症対策をしたうえで、面会を楽しまれました。

ご家族がご自宅で採れたしぶ柿を持って来て下さり、皆様で皮を剥き、干し柿を作ったり、ご家族がご自宅の畑で採れたご入居者にとっての懐かしい味の野菜を届けて下さいました。

ご家族からのプレゼント

ひ孫さんの七五三

（3）食事

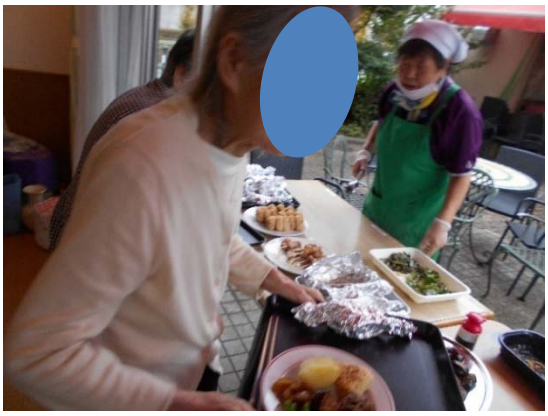
ア．常食以外の方は食札を作り、食事提供前に確認をして提供しました。

イ．6 月は流しそうめん、10 月にはバーベキューを行ない、季節のイベントでの食事を味わいました。中庭の花壇に野菜の苗を植え、収穫したきゅうりやトマトをサラダなどに使用し、食卓を飾りました。また、園の畑にジャガイモやサツマイモを植えて収穫し、ご飯やおやつで召し上がりました。

ウ．毎月、栄養士の献立による季節の食材を多く使った食事を提供しました。

エ．毎月、地域で採れた季節の野菜を使用した「いきいき御膳」を提供し、健康になっていただけるように努めました。

干し柿作りの風景



バーベキューの風景

（４）体調管理

ア．介護職員による朝・夕・入浴前後のバイタル測定を行い、体調管理に努めました。

イ．週に１度の歯科、２週間に１度の訪問診療にて、医療との連携を図りながら、体調管理を行いました。

ウ．ケアカンファレンスを通して、ご入居者の心身の状態を把握しました。また、グループホーム内会議時に、認知症等の勉強会を行うことで、ケアの質の向上を図り、ご入居者が穏やかに過ごしていただくように努めました。

実施日	勉強会内容
５月２７日	認知症に関する研修
６月２５日	感染症及び食中毒に関する研修
８月２８日	PDCA サイクルに関する研修
９月２８日	非常災害の対応に関する研修
１０月２８日	プライバシー保護に関する研修
１１月２５日	認知症施策推進大綱に関する研修
１２月２２日	嘔吐物処理の研修

２月２５日	身体拘束に関する研修

（５）介護計画

ご本人やご家族からの聞き取りや、日々の生活内でのご入居者へ気づきをもとに、計画書の見直しを行ない、目標達成に努めました。

４．年間行事

（１）年間行事実施表

月	行　事	内　容
４月	お花見ツアー	数日、数回にわたり桜見物をおこないました。
６月	紫陽花見物ツアー	淵野辺公園に行き、色とりどりの紫陽花を楽しんでいただきました。
７月	七夕まつり	七夕飾りを作り、願い事を書いた短冊を笹に飾って楽しんでいただきました。
８月	大夏まつり	射的やヨーヨー釣り、手作りの魚釣りゲームをおこない、屋台風の食事や駄菓子で楽しみました。
９月	敬老祝賀会	家族から寄せられたメッセージを読み上げ、また、職員からの手作りプレゼントを渡しましたしました。
１０月	バーベキュー大会	炭火で焼いたお肉と野菜をを皆様で堪能されました。
	大運動会	１階、２階対抗で、玉入れやボール送りなど競技を行いました。皆様熱中され、接戦となりました。
１１月	焼き芋	畑で採れたさつまいもを中庭で焼いておやつに食べました。
１２月	クリスマス会	職員によるひげダンスやビンゴゲームを行い、皆様で盛り上がり、賑やかな会となりました。
１月	初詣	矢部八幡宮へ初詣に出掛けました。一人ひとり願いを込めてお参りをしました。
２月	節分祭	鬼に見立てた紙人形に向かって「鬼は外、福は内！」と豆まきをしました。

３月	ひな祭り	ひな祭りの唄を歌い、おやつには、ひなあられと甘酒で乾杯しました。

紫陽花見物ツアーの風景

敬老会の風景

大運動会の風景

クリスマスの風景

５．防災防火計画

実施日	実施内容	参加人数
８月１７日 ～２０日	消火器訓練	１２名
３月２７日	避難訓練	２３名

毎日、定時での点検及び定期的にコンセント等の確認を行いました。

６．感染症対策

職員につきましては、通勤時から感染症予防に努め、休日も体を休めるなど、体調管理に努めました。

事業所での換気や消毒等、感染症予防の取り組みをおこない、予防に努めました。

７．総括

コロナ禍での生活も２年目になり、職員の出勤時の体温測定や手指消毒・マスク着用、来園者の体温測定、外出時の３密に注意するなどの感染症対策を行い、ご入居者の感染はありませんでした。

１０月には、バーベキュー、１１月には焼き芋、日常では外気浴など、外出が少ない分、中庭で季節を感じ、気分転換をすることが出来ました。

行事の開催は、ご入居者と職員で行いました。クリスマス会は、クリスマスランチプレートやケーキバイキングを企画し、ご入居者から好評をいただきました。

また、作業療法士の方と相談しながら作った「ぬくもり体操」を実施し、どの職員も簡単にご入居者の前で、体操をしやすくなり、ご入居者も積極的に体操に参加されるようになりました。

対面するのが難しい今、ご家族より折に触れてご入居者に手紙が届きました。ご家族の近況を知ることができ、ご入居者からは「安心した」との声もありました。従来とは違うご家族とのコミュニケーションを図り、信頼を深めました。

そして、地域との新しいかたちでの交流を深めるため、小山田桜台商店街のレンタルボックスを借りてのご入居者の作品の展示や、昨年に引き続き、障がい者施設からの依頼で衣類の修繕も行いました。また、地域で行っている「子ども食堂」では、ご入居者が作ったポチ袋や鶴の箸袋を返礼品として提供しました。ご入居者が地域の一員として暮らしているという実感がもてるよう、社会参加の機会をサポートして参りました。

共用型認知症対応型通所介護におきましては、お問い合わせや施設見学者に共用型認知症対応型通所介護を説明しました。また、現在使用しているご案内(チラシ)のサービス内容や利用状況表を定期的に見直し、ぬくもり便りを季節ごとに作成すると共に、営業活動を行い、新規ご利用者確保に努めました。

高齢者デイサービスセンターぬくもりの園　事業報告書

（認知症対応型通所介護・地域密着型通所介護）

１．重点目標

（１）地域密着型通所介護

ア．感染症予防策を徹底し、安定した運営が行えるよう努めます。
　感染予防策について、職員のマスク着用や定期的な手洗い、うがいを施行し感染予防を行ってまいりました。またご利用者の方々にもご協力をお願いしながら定時での手指消毒や次亜塩素酸を希釈した消毒液の噴霧などを実施しました。

イ．９０日プランを実施し、更なるサービス向上に努めます。
　プランを実施し、ご利用者のニーズに沿った、より良いサービスを提供出来るよう努めてまいりました。ケアマネジャーへの情報配信が定期的の実施には至らず、次年度の課題と致します。月の平均稼働率は６９．１％となりました。新規利用者数は１０名となりました。

（２）認知症対応型通所介護

ア．感染症予防策を徹底し、安定した運営が行えるよう努めます
　感染予防策について、職員のマスク着用や定期的な手洗い、うがいを施行し感染予防を行ってまいりました。またご利用者の方々にもご協力をお願いしながら定時での手指消毒や次亜塩素酸を希釈した消毒液の噴霧などを実施しました。

イ．９０日プランを実施し、更なるサービス向上に努めます。
　プランを実施し、ご利用者のニーズに沿った、より良いサービスを提供できるよう努めてまいりました。前年比約３倍の新規ご利用者ご紹介をいただきましたが、入所や入院、他界などで例年より多く１６名のご利用中止が発生いたしました。月の平均稼働率は５０．８％となりました。新規利用者数は１６名となりました。

２．利用者状況

（１）稼働率

（%）

項目	４月	５月	６月	７月	８月	９月
地域密着	６６．７	６９．９	７４．０	７１．９	６９．２	６７．６
認知症	５５．８	５９．０	５２．６	３７．０	４２．３	４３．９

項目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
地域密着	６７．９	６８．３	６３．８	６５．３	７６．４	６９．１
認知症	４８．４	５８．３	５９．６	５３．１	４５．５	５４．９

地域密着型平均６９．１％、認知症対応型平均５０．８％でした。

（２）新規受け入れ

項目	４月	５月	６月	７月	８月	９月
地域密着	－	２名	１名	－	－	－
認知症	－	１名	－	－	２名	－
合計	－	３名	１名	－	２名	－
項目	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
地域密着	－	２名	１名	２名	１名	１名
認知症	３名	４名	１名	－	－	５名
合計	３名	６名	２名	２名	１名	６名

計２６名の新規利用者の紹介をいただきました。

（３）登録利用者数（３月３１日現在）

項目	町田市
地域密着	３１名
認知症	２３名

３．年間行事

月	行事	内容
４月	筍御膳	近隣の竹林で収穫した旬の「たけのこ」を調理し、筍御膳を召し上がりました。
	お寿司祭り	皆さまのリクエスト「お寿司」を某お寿司屋さんで注文し、器に並び替え、お好みでワサビを使っていただきました。
５月	兜をつくろう	子供の日にちなんで「兜」作りを行いました。様々な大きさや形に出来上がりました。
	散歩へいこう	天気の良い日に、ソーシャルディスタンスを保ちながら薬師池公園へ出かけました。
	けんちん汁を作ろう	「今日は何を食べよう」と皆さまでけんちん汁を調理しました。具だくさんの汁に仕上がりました。
６月	梅干しを作ろう	昔ながらの梅干し作りに挑戦しました。皆さまの意見や経験を話し合い、立派な梅干しが完成しました。
	紫陽花巡り	紫陽花で有名な「高幡不動」へ出かけました。様々な種類の紫陽花をゆっくり鑑賞しました。

７月	トマト収穫祭	プランターに植えたトマトが元気に実り、収穫を行いました。
	お好み焼き大会	「お好み焼き」を皆さまと一緒に調理し、召し上がりました。
	卓球大会	卓球大会を開催しました。皆さまが参加できるよう工夫し、半身まひを患ったご利用者も一生懸命に参加されていました。
８月	暑気払い	皆さまで神輿を手作りし、当日は炭坑節を流しながら担ぎました。チケットを握りしめ、懐かしいヨーヨー釣り、射的などを行い、昼食も屋台風にして賑やかな暑気払いになりました。
	パン屋さんへ行こう	「美味しいパンが食べたい」というリクエストにお応えして、近所のパン屋さんへ買い出しに行きました。
９月	地域貢献活動	近隣の農家さんからニンニクをお預かりし、ひと粒づつ手作業で小分けしました。食欲そそる素敵な香りに包まれながら手指を動かす機能訓練にもなりました。
１０月	カレー作り	昔ながらのカレーを皆さまで作りました。地域によって具材が異なることに驚かされました。
	運動会	秋の恒例行事「運動会」を開催しました。普段はお見せにならない表情で一生懸命に身体を動かされてました。
	そら豆の種取	そら豆の種取をおこないました。皆さま、談笑しながら楽しく行っていました。
１１月	焼き芋大会	近隣の農家さんからいただいた「さつま芋」を炭で火を起こし、焼き芋大会を開催しました。ホクホクの焼き芋を皆さまでいただきました。
	干し柿作り	地方から「柿」を取り寄せ、干し柿作りに挑戦しました。甘くて美味しい干し柿が出来上がりました。
１２月	ケーキバイキング	クリスマスにちなんで、天気の良い日に、中庭でケーキバイキングを行いました。
	豚汁作り	寒さ厳しい中で、薪を焚き、釜土で豚汁作りを行いました。あたたかい豚汁を皆さまで召し上がりました。
１月	七草がゆ	7 日に七草粥を召し上がりました。七草の由来を皆さまで話し合い、昔話に華が咲きました。
２月	白玉だんご作り	白玉団子を皆さまで作りました。昔懐かしいお話をたくさん話しながら作られていました。
	どら焼きを作ろ	皆さまのリクエスト「どら焼き」作りに挑戦しまし

	う	た。生地を丁寧に、粘りが付くまでかき回し、美味しいどら焼きが完成しました。
３月	松花堂弁当	心地よい日差しの中、中庭で「松花堂弁当」を召し上がりました。
	お花をつくろう	和紙を使用し、季節のお花作りを行いました。十人十色の彩り鮮やかなお花が出来上がりました。

※各月のお誕生日や、ご利用者のご出身地にちなんだイベント（ご出身地の郷土料理を作る等）を企画、提供しております。

紅葉見学

梅干し作り

パン屋さん買い物

筍御膳の写真

ケーキバイキング

運動会

お好み焼き作り

紫陽花見学

薬師池公園お散

干し芋作り

ニンニクの皮むき

豚汁作り

和紙花作り

パットゴルフ

日常

日常

日常

日常

日常

日常

４．防災防火計画

毎日、定時での点検及び定期的にコンセント等の確認を実施。また、8 月に防火担当者指導による消火訓練、3 月に避難訓練を実施しました。

５．総括

年度を通し、コロナウイルス感染症予防を第一に考え、行動した１年となりました。

Panasonic ジアイーノを常時稼働すること、職員はもとより、ご利用者の皆さまへもご協力いただき手指のアルコール消毒、手洗いうがいの施行、アクリルパネルの設置等で感染症予防に努めてきました。また、前年に引き続き外出レクリエーションなどを控えて、まん延防止措置等の動向を把握しながら、天気の良い日には感染予防に留意しながら外出し、機能訓練や気分転換を図りました。

毎日使用する送迎車両については、使用ごとに車内の消毒を実施いたしました。

コロナ禍でありながら地域密着型通所介護及び認知症対応型通所介護で計２６名の新規ご紹介をいただきましたが、半数は当法人の居宅介護支援事業所からの紹介になります。

コロナ禍の状況を見据えながら、訪問活動を再開すること、また、訪問活動を通して高齢者並びにご家族、ケアマネジャーが必要としていることに気付き、応えることで安定した運営を目指してまいります。

高齢者ショートステイサービスぬくもりの園　事業報告書

１．　重点目標

（１）コロナ禍でも楽しい時間を過ごしていただく。

天候の良い日には中庭でランチを召し上がりながら日光浴を楽しんでいただきました。１日２回午前・午後に体操を行い体を動かす事で気分転換となり、身体機能の維持を図りました。ご利用者一人ひとりの趣味趣向を確認し裁縫やジグソーパズル、スクラッチアート等の手芸を提供して楽しんでいただきました。

（２）介護ロボットの導入

ご利用者の安心・安全と職員の負担軽減が図れるよう、介護ロボット（見守りセンサータイプ）の導入を進めてまいりましたが今年度は見送り、２０２２年度での導入を進めてまいります。

２．利用者状況

（１）新規利用者数

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
新規 利用者数	３名	１３名	６名	１２名	１２名	１３名
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
新規 利用者数	１１名	１３名	１２名	１１名	１３名	１５名

１３４名の新規利用者を紹介いただきました。

（２）要介護度

	男性	女性	計
要支援１	－	－	－
要支援２	－	２名	２名
要介護１	２７名	３３名	６０名
要介護２	２４名	２４名	４８名
要介護３	１６名	３９名	５４名

要介護４	１４名	３０名	４４名
要介護５	２名	８名	１０名
計	８３名	１３５名	２１８名

（３）地域

地域	町田市	多摩市	八王子市	稲城市	その他	合計
人数	１４０名	２９名	４１名	６名	２名	２１８名

３．　年間行事

月	行事	内容
４月	桜見学	高幡不動へ桜見学に行きました。綺麗に咲いた桜の下でお茶とお菓子を楽しみながら「本当に綺麗な桜ね」と楽しく談笑されていました。
５月	祝　母の日	ビンゴ大会でお祝いしました。ビンゴになり景品を受け取り楽しまれていました。食事はバーベキューを召し上がっていただきました。手作りのカーネーションと一緒に撮った写真にお祝いのメッセージを添えてプレゼントしました。
	端午の節句祭	節句にちなんだ料理を御膳として召し上がっていただきました。「おいしい」との声が多く聞かれていました。メッセージカードもプレゼントしました。
６月	紫陽花見学	麻溝公園に行き色鮮やかな紫陽花をたくさん見ることができ「本当に綺麗ね」とご利用者同士笑顔で話されていました。綺麗な紫陽花を眺めながらお茶菓子とお茶を楽しまれていました。
７月	流しそうめん	中庭に流しそうめんを用意しお一人ずつ順番にお箸で掬い「夏はやっぱりそうめんだね」「そうめんを食べると涼しい気分になるね」と談笑されながら召し上がられていました。
８月	納涼祭	金券を使い屋台形式でご用意した食べ物と交換して召し上がっていただきました。浴衣や法被を着てお神輿を担ぐ事や、盆踊りを楽しまれ、夏を感じていただきました。
９月	祝　敬老会	お祝い御膳をご用意し召し上がっていただき、午後は式典を行いました。年代ごとに色の違う手作りのちゃんちゃんこを着てお祝いしました。
	夕涼み花火	中庭で花火を行いました。「綺麗だね」「手持ち花火も迫力あるね」と談笑され盛り上がっていました。
１０月	秋の運動会	紅白に分かれていろいろな競技で戦いました。皆様白熱していました。

１１月	紅葉見学	薬師池公園に紅葉見学に行き紅葉を鑑賞しながら温かいお汁粉を召し上がり「温まるし美味しい」と喜ばれていました。
１２月	クリスマス会	職員がサンタクロースに扮し手品を披露し、ビンゴ大会も行い皆様景品を持ち帰られました。クリスマスソングも歌い盛り上がっていました。
	クリスマスツリー 点灯式	近隣施設にてクリスマスツリーの点灯式があり、点灯の瞬間に「綺麗ね」と喜ばれていました。また、ハンドベルの音色を聞き「いい音ね」と聞き入っていました。
１月	初詣	上根神社に行き一年の始まりに願い事をされ「初詣に行けるなんて思ってもいなかった」と喜ばれていました。
２月	節分	職員が鬼に扮し皆様の元に行き用意していた豆を勢いよく撒いていました。「鬼は外、福は内」と大きな声も聞かれていました。
３月	ひな祭り	ひな人形の前で写真を撮り「綺麗ね、素敵だわ」と皆様、談笑されていました。

桜見学

桜見学

バーベキュー

バーベキュー

ビンゴ大会

母の日

紫陽花見学

紫陽花見学

流しそうめん

流しそうめん

納涼祭

納涼祭

敬老会

敬老会

夕涼み花火

夕涼み花火

運動会

運動会

紅葉見学

紅葉見学

クリスマス会

クリスマス会

初詣

初詣

節分

節分

ひな祭り

ひな祭り

４．　防災防火計画

毎日遅番職員にて自主点検を実施しました。８月には防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。３月には総合消防訓練を実施しました。

５．総括

新規のご利用者数は１３４名と前年度より１２名多くご紹介をいただき、平均稼働率は９６．９％と目標の平均稼働率８８％を達成できました。リピート率は８３．４％となっております。会議の場で勉強会を開催し職員の質とサービスの質の向上に努めました。

ショートステイならではのサービスとして、夜間の外出イベントは、夏は夕方に中庭で花火を行いました。花火は皆様とても喜ばれ、笑顔が多くみられました。冬には近隣の施設でのクリスマスツリーの点灯式に行きハンドベル演奏を鑑賞してきました。皆様そろって「綺麗ね」「いい音色ね」と話されていました。

新型コロナウイルスの影響は続いておりますが居室内、リビング内の消毒、及びご利用者並びに職員の手洗い、うがい、手指の消毒を行い感染拡大防止に努めました。来年度も引き続きご利用者及びご家族、ケアマネジャーのニーズに応え、リピーターの確保、新規利用者の獲得、稼働率の維持向上に努めてまいります。

居宅介護支援事業所ぬくもりの園　事業報告書

１．重点目標

（１）要介護受け入れ件数目標　８０件／月

要介護受け入れ件数年間平均７７件／月となりました。４月の段階で担当件数７１件でしたが、令和４年３月には８３名の要介護者の支援を担当させていただいております。ご逝去、施設入居等あり、年間での目標は未達となりましたが、年度内に８０件／月を目指して新規受け入れと上半期に立てた目標は達成しており、翌年度には年間８０件の要介護者受け入れが達成可能な状態です。

（２）中重度要介護者への支援の強化

必要時診察に同席し、ご本人やご家族と共に主治医へ相談や病状の説明を受け状況の確認を行いました。また薬剤師へ日頃の服薬状況の確認の報告や薬の説明を受けるなど関係づくりに努めました。また入院時には３日以内に病院へ情報提供を行い、医療相談員と積極的に情報交換を行い、入院中から退院に向けての支援強化を図り、在宅サービスの調整を行いました。

中重度要介護者が在宅で暮らし続けられるように、家族看護についての勉強会にも参加し、要介護のご利用者だけではなく、在宅の生活を総合的に支援できるように努めました。

（３）ご利用者から選ばれる地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員となれるよう、事例検討や研修等への参加を積極的に行い自己啓発に努めます。

忠生第一高齢者支援センター、堺第二高齢者支援センターの勉強会や地域ケア推進会議他、地域の医療機関や厚労省のセミナー等を通し、専門性の向上に努めました。

（４）高齢者虐待の疑い、また成年後見制度等を必要とするご利用者に対し、地域の高齢者支援センターへの報告を行うとともに必要な支援を行い権利擁護に務めます。

高齢者虐待の疑いがあるケースは高齢者支援センターに速やかに報告し、ご利用者の権利擁護に努めました。忠生第一高齢者支援センター、堺第二高齢者支援センターにそれぞれ１件づつ虐待が疑われるケースを相談し、支援センターと連携し権利擁護に努めました。

２．利用者状況

（１）稼働率　　稼働率平均は９８．６％となりました。

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要介護者数	７１名	７４名	７６名	７６名	７３名	７５名
要支援者数	７名	７名	６名	６名	６名	６名
職員数	３人	３人	３人	３人	３人	３人
稼働率	９２．９％	９６．４％	９７．６％	９７．６％	９４．０％	９５．２％
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要介護者数	７６名	７７名	８０名	８１名	８３名	８３名
要支援者数	６名	６名	５名	５名	５名	５名
職員数	３人	３人	３人	３人	３人	３人
稼働率	９７．６％	９８．８％	１０１．２％	１０２．４％	１０４．８％	１０４．８％

（２）新規利用者数

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
新規依頼	１名	３名	３名	４名	２名	２名
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
新規依頼	４名	３名	３名	３名	５名	３名

３６名の新規支援を開始しました。支援終了者２４名でした。

（３）要介護度

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
要支援１	３名	３名	３名	３名	３名	３名
要支援２	４名	４名	３名	３名	３名	３名
要介護１	３１名	３２名	３２名	３０名	３０名	３０名
要介護２	１７名	１７名	１８名	１８名	１８名	１７名
要介護３	９名	９名	９名	９名	１０名	１２名
要介護４	１０名	１１名	１１名	１０名	１１名	１１名
要介護５	４名	４名	４名	３名	３名	３名

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
要支援１	２名	２名	３名	３名	３名	３名
要支援２	２名	２名	２名	２名	２名	２名
要介護１	３１名	３１名	３０名	３０名	２７名	３０名
要介護２	１７名	２０名	１９名	２３名	２２名	２３名
要介護３	１０名	１０名	１３名	１５名	１３名	１３名
要介護４	１１名	１０名	１０名	８名	８名	８名
要介護５	４名	６名	５名	４名	４名	５名

要介護度平均値は１．９５でした。

（４）居住地域

居住地域	下小山田町	小山田桜台	図師町	木曽東・西	山崎町	忠生
利用者数	２０名	１５名	１２名	７名	３名	４名

居住地域	常盤町	小山町	上小山田町	本町田	根岸	その他
利用者数	２名	９名	４名	―	２名	１０名

３．要介護認定調査

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
調査件数	―	５件	１件	４件	―	１件
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
調査件数	６件	３件	３件	５件	３件	３件

外部研修等

月日	研修表題	主催	参加人数
５月６日	ケアマネジャー連絡会総会	町田市ケアマネジャー連絡会	３名
５月１７日	町田市ケアマネジメント勉強会	町田市介護保険課	２名
６月１７日	忠生第一高齢者支援センター勉強会（オンライン会議）	忠生第一高齢者支援センター	３名

６月２２日	堺第二高齢者支援センター勉強会（オンライン会議）	堺第二高齢者支援センター	２名
６月２９日	地域ケア推進会議	忠生第一高齢者支援センター	３名
７月１５日	忠生第一高齢者支援センター勉強会（オンライン会議）	忠生第一高齢者支援センター	３名
７月２９日	ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	３名
９月３０日	ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	２名
１０月２８日	忠生第一高齢者支援センター勉強会（オンライン会議）	忠生第一高齢者支援センター	１名
１１月２５日	ケアマネジャー連絡会	町田市ケアマネジャー連絡会	１名
２月２１日	忠生圏域ケアマネ勉強会	町田市ケアマネジャー連絡会	３名
２月２２日	地域ケア推進会議	忠生第一高齢者支援センター	２名

５．防災・防火計画

（１）安全対策・備蓄

ご利用者宅訪問時に、火気管理や家具の転倒防止、食料の備蓄など、安全対策の実施の呼び掛けを行いました。

（２）連絡体制の整備

災害時連絡体制の整備として、ご利用者緊急連絡先を日頃より確認し更新しました。緊急連絡カードの作成も行っています。

（３）防災訓練の実施

８月に、法人本部が主催する消火活動体験に全職員が参加し、職員の防災意識の向上に努めました。またサービス付き高齢者住宅「清住の杜町田」との合同訓練も実施し、館内の設備点検や避難方法確認も行いました。

６．総括

令和３年の介護報酬改定があり、ご利用者、ご家族が理解できるような丁寧な説明を心掛けました。新型コロナウイルス感染拡大防止の為にサービス担当者会議でサー

ビス事業所と集まれない中でもご利用者の支援を継続していく為に、情報共有は電話、メール、チャットサービス等活用しました。令和４年２月には在籍ケアマネジャー１名が濃厚接触者となった事や世の中も感染拡大局面にあった事もあり、テレワークや併設サ高住の地域交流スペースを活用しながら職員が事業所内で密にならないように感染拡大防止に努めました。このような新型コロナウイルスによっての臨時的な対応が、スタンダードになってきています。今後もご利用者と共にコロナ禍においても暮らしの安心と生活の質の向上を考えて参ります。

ヘルパーステーションぬくもりの園　事業報告

介護保険法に基づく高齢者福祉サービス

１．重点目標

（１）　月平均目標ご利用者４５名・稼働時間２７０時間
　上半期結果　月平均４５名・稼働時間月平均２６２時間

月	利用者数（内新規利用者数）	訪問時間数
４	４２（３）名	２５３時間
５	４２（１）名	２３６時間
６	４３（１）名	２６２時間
７	４６（３）名	２７４時間
８	４９（５）名	２７９時間
９	５０（２）名	２６７時間
１０	４６（１）名	２６１時間
１１	４９（３）名	２９７時間
１２	５０（４）名	３１４時間
１	４７（１）名	２８３時間
２	４２（０）名	２２４時間
３	４２（０）名	２５９時間

２月で常勤１名、週４日のパート１名退職と退職者が相次ぎ、ご利用者数も時間数も低下している状況です。２月、３月に関してはヘルパー数の関係で新規ご利用者依頼も受ける事ができませんでした。サービス終了するご利用者にご迷惑がかからないよう次にサービス提供を行う事業所に引継ぎを行いました。

（２）　喀痰吸引等研修

喀痰吸引等研修は対象ご利用者がおらず、実施しませんでした。

２．プレゼント

外出が困難な方であっても四季を感じていただけるよう、介護ステーションにて行なっていた折り紙教室の先生と協力し、季節の折り紙をお届けいたしました。お届けしたご利用者の中には、部屋に並べ飾られている方もいました。
敬老の日にはデスクオンスリムクロックをお届けいたしました。皆さまとても喜ばれ

ていました。

３.職員の研修・会議

会議・研修日	内　容
４月２１日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 感染対策の基本について
５月２０日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② プライバシーの保護について
６月２３日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 法令遵守・熱中症について
７月２８日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 緊急時対応について
８月２５日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 災害への備え・夏バテ対処法について
９月１５日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②高齢者虐待の対応について
１０月２７日	①食中毒について（ウエルシュ菌）保存方法 ②鍛えるための習慣とトレーニング
１１月２４日	①硬い背中を緩めるには ②ラクナ梗塞・在宅終末期ケアにおける看護師との連携
１２月２２日	①入浴中の事故を防ぐための注意ポイント ②冬のかくれ脱水

４．　防火防災計画

（１）利用者宅の安全対策として、落下物、家具などの転倒防止を呼びかけました。

（２）防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。

５．　総括

長年ヘルパーステーションで働いていた常勤２名とパート１名の退職が急遽決まり管理者、サービス提供責任者、ヘルパーそれぞれの確保が難航しました。管理者の兼ね合いで令和４年２月１日付にて小山田桜台にあった事務所をサービス付き高齢者向け住宅清住の杜町田に移転しております。ご利用者に迷惑がかからないよう、法人内他事業所と連携し、ヘルパーステーションを存続させ、サービス提供をする事ができました。地域の中で当事業所の訪問介護に求められている役割を考え、ヘルパーステーションを再構築していけるように努めます。

ヘルパーステーションぬくもりの園　事業報告

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス

１．重点目標

（１）月平均ご利用者５名・稼働時間３０時間

月	利用者数（内新規利用者数）	訪問時間数
４	５（-）名	４７．５時間
５	５（-）名	３９．５時間
６	５（-）名	５２．５時間
７	５（-）名	５０時間
８	６（１）名	３９時間
９	６（-）名	３７時間
１０	３（-）名	２２．５時間
１１	４（-）名	３２．５時間
１２	５（-）名	３８時間
１	４（-）名	２１．５時間
２	３（-）名	１６．５時間
３	３（-）名	１６時間

２月で常勤１名、週４日のパート１名退職と退職者が相次ぎ、ご利用者数も時間数も低下している状況です。２月、３月に関してはヘルパー数の関係で新規ご利用者依頼も受ける事ができませんでした。サービス終了するご利用者にご迷惑がかからないよう次にサービス提供を行う事業所に引継ぎを行いました。

２．職員の研修・会議

会議・研修日	内　容
４月２１日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 障がい・感染対策の基本について
５月２０日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 障がい・プライバシーの保護について
６月２３日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 障がい・法令遵守・熱中症について
７月２８日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 障がい・緊急時対応について

８月２５日	① 利用者の情報交換及び検討結果 ② 障がい・災害への備え・夏バテ対処法について
９月１５日	①利用者の情報交換及び検討結果 ②障がい・高齢者虐待の対応について
１０月２７日	①食中毒について（ウエルシュ菌）保存方法 ②鍛えるための習慣とトレーニング
１１月２４日	①硬い背中を緩めるには ②ラクナ梗塞・在宅終末期ケアにおける看護師との連携
１２月２２日	①入浴中の事故を防ぐための注意ポイント ②冬のかくれ脱水

３．プレゼント

以前、介護ステーションにて行っていた折り紙教室の先生と協力し、季節ごとに折り紙とお誕生日のお祝いとして、デスクオンタイムクロックをお届けいたしました。下半期もお届けいたします。

４．防火防災計画

（１）利用者宅の安全対策として、落下物、家具などの転倒防止を呼びかけました。

（２）防火管理担当者指導による消火訓練を行いました。

５．総括

２月で常勤１名、週４日のパート１名退職と退職者が相次ぎ、忠生圏域の障がい者の地域包括支援センターを中心に定期的に新規の依頼を頂きますが、ヘルパーが確保できず、新規を受け入れられていません。地域の中でニーズがある事業だと実感しており、サービス提供体制が整えば、障がいの訪問介護開設当初から想定している８０５０問題についてもお力になれると考えています。高齢の訪問介護と障がいの訪問介護シームレスに提供し、一家の生活課題を解決できるように今後もサービスを継続できるように努めます。

介護ステーションぬくもりの園　事業報告書

１．重点目標

（１）地域への情報共有強化

月	件数	相談内容等
４月	１０名	オムツ購入　お立ち寄り　介護相談他
５月	１０名	マスク寄付　介護相談　オムツ購入他
６月	１２名	介護相談　オムツ購入他
７月	１２名	介護相談　救急車手配、　お立ち寄り他
８月	１１名	介護相談　、本寄付、お立ち寄り他
９月	１３名	オムツ購入、介護相談、本寄付他

１０月以下、来客数不明。２月１日から介護ステーションの営業を休止しています。

（２）介護ステーションの周知

当会グループホームの方の作品展示をし、制作している様子の写真も展示しました。

また、「きんじょの本棚」という本棚がある場所でなら、どこで借りてもどこで返してもいいをコンセプトとし、店主が選んだ本や、お店を利用する人が寄付してくれた本を取り扱う町田市を中心としたプロジェクトに、7月よりぬくもりの園店として参加をしました。SNS で発信することにより、今まで介護ステーションぬくもりの園を知らなかった方や、地域外の方も来訪して下さり、異業種の方と交流をする事も出来、介護ステーションを知って頂くきっかけ作りとなりました。介護ステーション営業休止に伴い、「きんじょの本棚」は清住の杜町田に移設しています。

４．感染症対策

コロナウイルス等、感染症の流行情報には十分注視し、除菌やマスクを改めて意識して、来園の際には入り口にて手の消毒や検温をしていただきます。備蓄含め感染予防、拡大防止に努めます。また、ご利用者や職員の健康状態も踏まえ柔軟に対応します。

５．総括

上半期はコロナ禍で不安も大きくなり、相談に来る方が増えていました。令和４年２月１日より営業休止しておりますが、営業内容の検討を行いより一層地域の皆様に必要

とされる拠点づくりを目指して参ります。

サービス付き高齢者向け住宅　清住の杜町田

１．重点目標

（１）新規ご入居者の獲得

町田市および近隣市の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、施設紹介センター等に対し、パンフレット資料の郵送、ファックス、電話での案内を実施しました。紹介センターやインターネット検索サイトからの見学が多く、その結果、５１件の施設見学から、１５戸１７名の入居がありました。

（２）楽しみのある生活

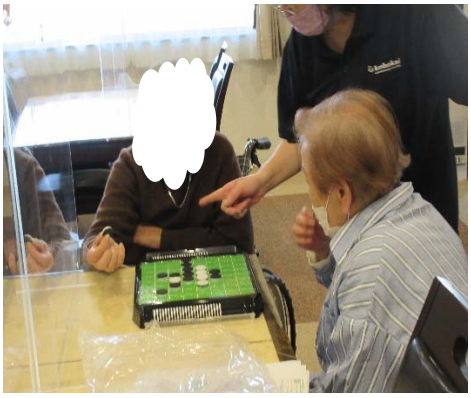
コロナ渦の中、遠方への外出を自粛しているご入居者が多く、住宅の周辺をお散歩されていました。また、近隣の方と顔馴染みの関係になられ、お話を楽しまれている方もいました。

住宅内では、午前、午後とラジオ体操を行いました。また、感染症予防を行いながら映画鑑賞会やご入居者同士の交流の場として１階食堂を開放しました。談笑される方やご自分の作品を持ってこられ、作り方の説明をされている方もいました。

散歩の途中の憩いの場

近所へお散歩

みんなで相撲観戦



オセロゲーム

ラジオ体操

（３）環境づくり

ご入居者とのコミュニケーションを大切にし、生活状況に変化が見られた際は、お電話やお手紙で連帯保証人様へお知らせしました。連絡内容としまして体調不良のご連絡が多かったです。

２．利用者状況

（１）入戸数　　（末日で表示）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
入戸数	３１戸	３２戸	３０戸	２９戸	２７戸	２８戸
新規戸数	２戸	２戸	―	―	―	２戸
退去戸数	１戸	１戸	２戸	１戸	２戸	１戸
稼働率	９１．１	９４．１	８８．２	８５．２	７９．４	８２．３

ご見学からご入居まで３年検討を重ねてからのご入居者もいました。

月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
入戸数	３０戸	３０戸	３１戸	３１戸	３２戸	３４戸
新規戸数	３戸	１戸	２戸	―	１戸	２戸
退去戸数	１戸	１戸	１戸	―	―	―
稼働率	８８．２	８８．２	９１．１	９１．１	９４．１	１００

（２）入居者数　　（末日で表示）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
入居者数	３１名	３２名	２９名	２９名	２８名	３０名
新規入居	２名	２名	―	―	―	３名
退去者	―	１名	３名	―	２名	１名
稼働率	９１．１	９４．１	８５．２	８５．２	８２．３	８８．２
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
入居者数	３２名	３１名	３３名	３３名	３４名	３６名
新規入居	３名	１名	３名	―	１名	２名
退去者	１名	１名	１名	―	―	―
稼働率	９４．１	９１．１	９７．０	９７．０	１００	１０５

紹介センター、ホームページやブログ、インターネットでの紹介サイトをご覧になられてから、お問合せやご見学に来られていました。

（３）問合せ媒体

ホームページ	紹介センター	チラシ	検索サイト	居宅事業所	その他
２１件	２７件	４件	１３６件	６件	１２件

（４）見学者数

４月	５月	６月	７月	８月	９月
４件	８件	５件	３件	７件	１０件
１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
４件	５件	２件	２件	１件	―

（５）契約媒体

ホームページ	紹介センター	チラシ・有料広告	居宅事業所	その他
４件	３	２	２件	４件

（６）居住地域

地域	町田市	小金井市	杉並区	横浜市
人数	１６名	２名	１名	３名

地域	相模原市	厚木市	八王子市	川崎市
人数	１名	１名	１名	３名

地域	埼玉県所沢市	山梨県忍野村	群馬県桐生市	長野県茅野市
人数	１名	１名	１名	１名

地域	京都府八幡市	大阪府淀川市	秋田県秋田市	沖縄県うるま市
人数	１名	１名	１名	１名

一人暮らしに不安を抱えている方や、ご両親を遠方から招き入居につながる事例がありました。

３．行事

（１）ウェルカム・サービス

ご入居時よりお使いいただけるトイレットペーパー、箱ティッシュの内、お好きな方を選んでいただきプレゼントしました。

（２）交流会

１階食堂にて定期的にお茶会を開催し、ご入居者同士の交流を深めていただいておりましたが、コロナ感染予防の為、中止とさせていただきました。
少人数での集まりの際は､飲み物を提供したり映画上映会などで交流を深めていただきました。

玉入れゲーム

食事後の団欒

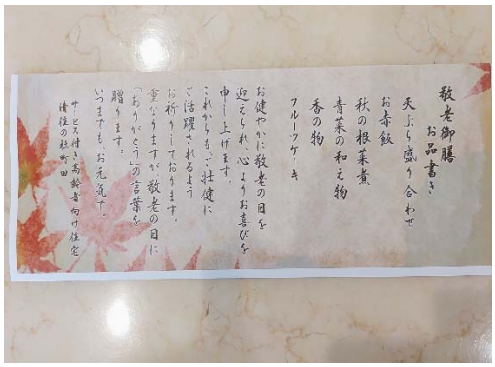
（３）季節の行事

５月	筍御膳	近隣の竹林から職員が収穫した筍を、筍御膳にして提供しました。
７月	七夕飾り	１階のサロンに笹を飾りました。
９月	お彼岸	手作りのおはぎを提供しました。
９月	敬老御膳	敬老御膳を召し上がっていただきました。
１２月	クリスマス	近隣の子供たちとクリスマスカレンダーの飾りつけをしました。
１月	お正月	おせち料理と少しのお酒で新年のお祝いをしました。

筍御膳

七夕飾り

そうめん御膳



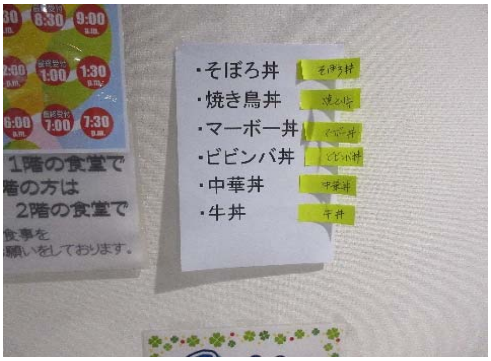
敬老会御膳

クリスマスツリーの飾りつけ

おせち料理

（4）毎月の行事

バイキング食　　感染予防として、数種類のメニューからお好きな丼を選んでいただき召し上がっていただきました。



（５）お買い物ツアー

ご入居者アンケートをもとに、多くのご要望があったお買い物ツアーを第２・第４水曜に実施しておりましたがご利用がありませんでした。

感染症予防の為、外出を控えているご入居者が多く、移動コンビニ、移動パン屋を利用されました。

移動パン屋にてお買い物

４．地域交流スペースの活用

建物１階にある地域交流スペースで、毎月第２・第４水曜日に移動コンビニを実施し、お住まいの皆さまとの交流の場として活用しました。

感染症予防としまして入室時には手指消毒を行っていただきました。

移動コンビニにてお買い物

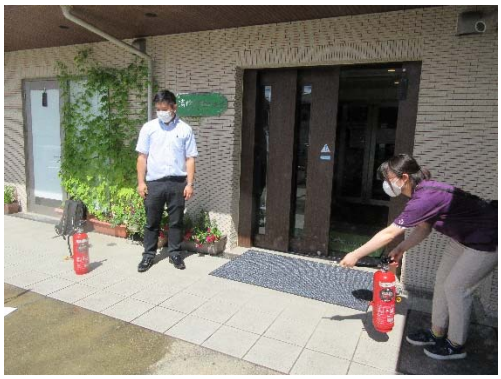
５．特殊浴槽等の整備

居室の浴槽では入浴が困難なご入居者に対し、対応が出来るよう職員が特殊浴槽の点検をしております。

特殊浴槽

６．防災防火計画

火災受信盤の表示や操作方法、水消火器を使い消火訓練を行い、避難訓練では、避難口や消火器の場所の確認を行いました。



消火器訓練

７．感染症対策

コロナ感染症予防として、館内の換気、１日５回　廊下、手摺、エレベーター内と触れる所をアルコールで消毒をしました。テーブルにアクリルパネルの仕切りを設置し換気を行い、お食事を召し上がっていただきました。

７．総括

居宅介護支援事業所や施設紹介センターへのパンフレットの送付、インターネット紹介サイトへの登録を行い、営業活動を継続的に実施しました。結果５１件の施設見学から、新規ご入居者を１５戸１７名お迎えすることができました。有料老人ホームへの入居、長期入院によりご逝去され１１戸１２名の退居者もありましたが、３月末の入居者は３４戸３６名となりました。

日々ご入居者及びご家族とのコミュニケーションを大切にし、ご入居者に体調の変化がみられた際は、ご家族への連絡と迅速、丁寧な対応を心がけました。

今年度も、コロナ感染症予防として、１日５回　廊下、手摺等触れる所をアルコールでの消毒、館内の換気、来訪者名簿を活用、ご入居者が食堂を利用の際は、体温測定を行い感染症予防に努めました。

また、定期的なお茶会や地域の子供との七夕飾り、ハロウィンは中止とさせていただきましたが、クリスマスの飾りつけでは、地域の子供達数名と一緒に行いました。ご入居者同士で少人数集まり談笑やゲームを行われている際は、飲み物を提供しご入居者同士、交流を深められていました。地域の方の開催する地域サロンは感染症予防を行い徐々に開催を始められました。

マスク着用が定着されており、お散歩に出かける際は、マスクを着けて出かけていました。雨の日は館内での歩行運動、午前午後とラジオ体操を行い筋力の維持を行っていました。ラジオ体操後に１階食堂を開放し相撲観戦や映画鑑賞等を行いました。

地域交流室前に「きんじょの本棚」を設置しました。「今日はどの本にしようかしら」「これを借りたよ」とご入居者同士でお話をされていました。

皆様の楽しみのひとつである食事イベントは、盛付されている料理の中からお好きな物を１品ずつ選んでいただき、職員がお渡しするバイキングやメニュー表から選んでいただく丼バイキングを行いました。いずれも感染予防を工夫しながらのバイキングとなりました。

また、春の筍、夏のそうめん、秋の敬老御膳とお重にいれた季節の御膳は、お重を開けた時の楽しみがあり、クリスマスプレートやおせち料理も好評でしたので、今後も続けて行きます。

体調不良でのお引越しの事もある為、引き続き、居宅介護支援事業所、施設紹介センターへのパンフレットの送付、ファックス営業を継続するとともに、新規ご入居者獲得に努めます。また、お住まいになられている方がここに移り住んで良かったと思っていただけるような行事を、感染症予防を行いながら企画していきます。